

みのりの投信

(確定拠出年金専用)

追加型投信/内外/株式

投資信託説明書(交付目論見書)

使用開始日
2024年12月27日



PORTFOLIA

照会先 **株式会社ポートフォリア**

<https://portfolia.jp/> 03-5414-5163
受付時間：営業日の午前8時半～午後5時半

ご購入に際しては、本書の内容を
十分にお読みください。

- 本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定にもとづく目論見書です。
- この投資信託説明書(交付目論見書)により行う「みのりの投信(確定拠出年金専用)」(以下、「みのりのDC」といいます)の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2024年6月28日に関東財務局長に提出しており、2024年6月29日にその届出の効力が発生しています。
- 投資信託説明書(請求目論見書)は、株式会社ポートフォリアのホームページで閲覧・ダウンロードすることができます。また、販売会社にご請求いただければその販売会社を通じて交付します。なお、請求を行った場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。
- 本書には、信託約款の主な内容が含まれていますが、信託約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に掲載されています。
- 「みのりのDC」の商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)にもとづき、事前に受益者(お客様)の意向を確認する手続きを行います。
- 投資信託の財産は、信託法(平成18年法律第108号)にもとづき受託会社において分別管理されています。

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象・地域	投資対象資産(収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	内外	株式	その他資産(投資信託証券(株式))	年1回	グローバル(日本含む)	ファミリーファンド	あり(適時ヘッジ)

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会ホームページをご覧ください。 <https://www.toushin.or.jp/>

●委託会社(「みのりのDC」の運用の指図を行います)

株式会社ポートフォリア

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2679号
設立年月日: 2010年11月25日
資本金の額: 1億6,390万円
運用する投資信託財産の合計純資産総額: 247.5億円
(資本金の額および合計純資産総額: 2024年10月末現在)

●受託会社(「みのりのDC」の信託財産の保管および管理を行います)

三井住友信託銀行株式会社

「みのりの投信(確定拠出年金専用)*」の目的 *以下、「みのりのDC」と表記することがあります。

「みのりの投信(確定拠出年金専用)」の目的

「みのりの投信(確定拠出年金専用)」は、お客様の資産形成のために
日本円でみた資産の着実な成長を図ることを目的とし
「みのりの投信マザーファンド」の受益証券を通じて
日本および海外の株式から選んだ「剛・柔・善」企業への規律ある集中投資によって
“階段型”に基準価額が上昇する絶対収益型の投資信託を目指します。

お客様のメリット

- 1** 市場や時代の変化を気にすることなく保有いただけます
「みのりのDC」は、市場や時代の変化に適応し続けるので、お客様は市場や時代の変化を不安に思うことなく、保有いただけます。
- 2** ご自身のニーズに合わせて“いつでも”保有いただけます
「みのりのDC」は、着実な基準価額上昇を目指すので、市場動向にかかわらず、ご自身のニーズに合わせて“いつでも”保有いただけます。
- 3** “誰にでも”保有いただけるシンプルでわかりやすい株式投資信託です
「みのりのDC」は、世界から「剛・柔・善」企業を選び、安く買って高く売るだけの、シンプルでわかりやすい投資信託なので、若い方から高齢の方まで、また初めて購入される方にも、安心して保有いただけます。

肥沃な「みのりの」を拡げていく

資産形成は、狩猟よりも農耕に似ています。
大地に種を蒔き、育て、収穫し、また種を蒔くという農耕。
「みのりのDC」も、お客様から預かる大切な資産という大地に
世界中から選りすぐった企業という素晴らしい種を蒔き、丹精を込めて育て
豊潤な成果を収穫するとともに、また種を蒔き続けるのです。

社会における人間の重要な営みの場である企業や組織
そこではたらく多くの人たち、そしてその成果を映し出す株式。
「みのりのDC」は、人間の無限の可能性を信じて、企業との対話を通じて信頼を育み
成長する楽しみを分かち合いたいと思っています。

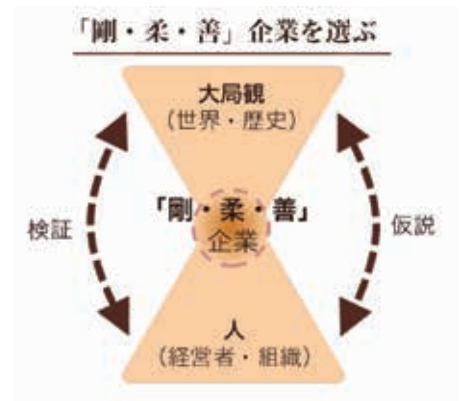
そして、資産形成にかかわる人たちとともに
その先へと楽しみを増やす肥沃な「みのり野」を拡げ続けることが「みのりのDC」の願いです。

「みのりのDC」の特色

種を蒔く — 大胆な選択

世界の環境変化をもとに、
「剛・柔・善」企業＝種を世界中から選びます

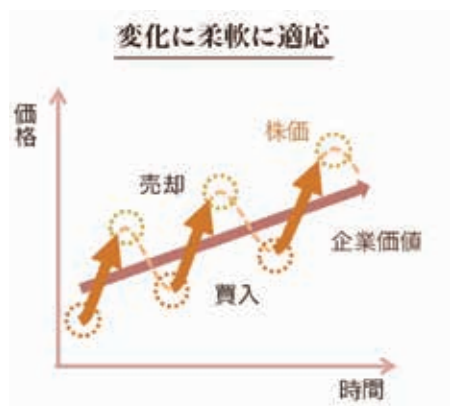
歴史観と世界観にもとづく“大局観”により、世界の将来の環境変化を予測します。そのうえで、“人”を軸に、善いだけでなく、変化に対する柔らかさと剛さをも兼ね備えた長期成長企業を世界中から大胆に選りすぐり、規律をもって集中投資をします。



育てる — 丹精を込めた運用

時代とともに変化する世界に、
柔軟に適応し続けます

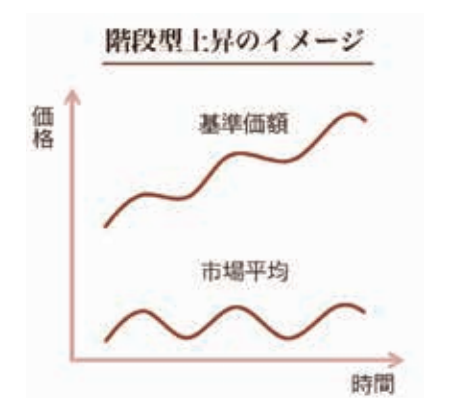
着実な実りを得るために、株式の組入比率やヘッジの有無、売買タイミングから時代の変化に沿った運用スタイルにいたるまで、世界の気候変化に柔軟に対応して、丹精を込めて育て続けます。



収穫する — 全天候で豊潤な成果

気候変化にかかわらず、
階段型に上昇する基準価額を目指します

世界の気候＝市場は、大きな変化を繰り返します。「みのりのDC」は、良いときに向けては安く買って実りを増やし、悪くなるときにはいったん売って現金に避難して実りを守り、また次の機会に備えます。どんな気候のもとでも、お客様の資産という大地を持続的に肥沃にするための目利きとなって、階段型に上昇し続ける基準価額を目指します。



みのりのサイクル — 種を蒔き、育て、収穫し、また種を蒔く



永続的に進化し続ける運用のプロセスと文化

時代の変化とともに、常に謙虚な姿勢で検証し進化し続ける、継続性と安定性をそなえた運用プロセス・文化を醸成していきます。

「みのりのDC」を運用するポートフォリア



価値観を共有する少数精鋭のチームが、徹底的に全体最適を議論することによってのみ
実現できる絶対収益型の運用。

高い実績を上げた経験豊富なメンバーが、あるべき投資信託を追求するために
デザインした組織・会社がポートフォリアです。

「日本人による日本人のための投資信託」、そして独立系のブティック運用会社ならではの
パフォーマンスとお客様起点のサービスをお届けします。

私が、お客様から預かる大切な資産を、責任を持って長期的に運用します



代表取締役社長 運用部長

立田 博司 たてだ ひろし

■ 運用歴*

内外債券 4年 7ヶ月
米国株式 2年 11ヶ月
日本株式 22年 7ヶ月

■ 経歴とおもな投資信託等の運用歴*

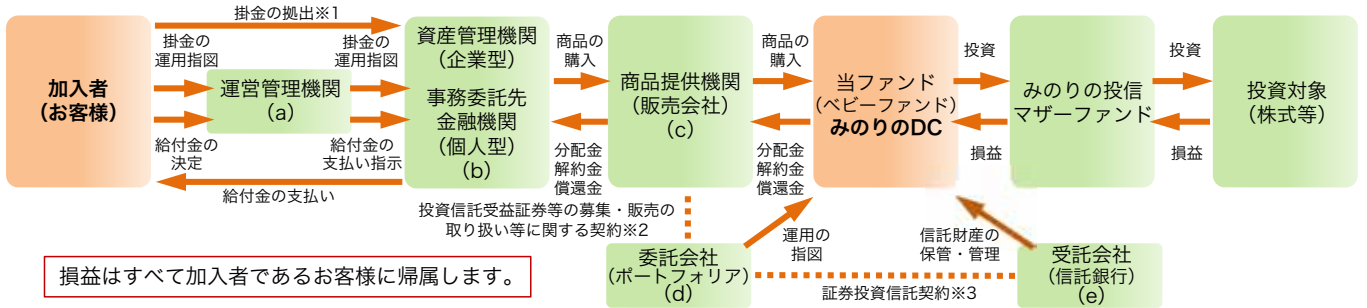
1988年4月～	現明治安田生命保険 (相)
1997年9月	国内債券、米国債券、為替、米国株式
1997年11月～	現ブラックロック・ジャパン (株)
2008年3月	ブラックロック日本小型株オープン (1998年7月～2007年12月)
2008年4月～	レオス・キャピタルワークス (株)
2009年10月	ひふみ投信 (2008年10月～2009年9月)
2010年11月～	(株) ポートフォリア みのりの投信 (2013年4月～) みのりの投信 (確定拠出年金専用) (2016年9月～)

*運用歴は2024年10月末現在

- ◎ 1964年福岡県生まれ。1988年に慶應義塾大学法学部卒業。
- ◎ 2001年に米経済誌『Forbes』で「20 of the world's Best Fund Managers」のひとりに選ばれる。
- ◎ 2007年には米投信情報サービス会社Lipperから日本中小型株部門で運用ファンドが10年間のBest Fundを受賞。
- ◎ 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員。

「みのりのDC」の仕組み

下の図は、確定拠出年金制度における加入者（お客様）と「みのりのDC」およびその他の関係機関等をまとめたイメージです。



損益はすべて加入者であるお客様に帰属します。

※1 企業型は、事業主のみが拠出する場合と、従業員も一緒に拠出する場合があります。個人型は、加入者自身が拠出することが原則ですが、将来的に勤務先の事業主と一緒に拠出することもできるようになる予定です。※2 投資信託の販売に関する規定です。※3 投資信託の運営に関する規定です。
(a) 運営管理機関：運用商品の選定や加入者の運用指図のとりまとめ、給付の裁定等を行います。(b) 資産管理機関、事務委託先金融機関：加入者の掛金の管理や商品の購入、給付金の支払いを行います。(c) 商品提供機関：加入者に対して投資信託や預金、債券などの運用商品を提供します。(d) 委託会社：投資信託の運用の指図を行います。(e) 受託会社：投資信託の信託財産の保管・管理を行います。

おもな投資制限	株式への実質投資割合は原則として信託財産の純資産総額の50%を超えるものとします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
収益分配方針	毎決算時（毎年3月31日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、委託会社（株式会社ポートフォリア）が基準価額の水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わない場合があります。※将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。 ● 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における「みのりのDC」の収益率を示すものではありません。 ● お客様の「みのりのDC」の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。「みのりのDC」購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

投資リスク

「みのりのDC」は値動きのある有価証券等に投資するので、組入る有価証券等の値動きなどの影響により基準価額が下落することがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されておらず、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。「みのりのDC」は預貯金と異なります。信託財産に生じた利益および損失はすべてお客様に帰属します。

基準価額の変動要因(おもな投資リスク)

※基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

株価変動リスク	国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。個々の企業の業績、国内外の経済・政治情勢などの影響を受けて株式の価格が下落した場合には基準価額は下落します。
流動性リスク	株式等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下で期待される価格や数量で取引が行えない、または取引が不可能となる場合があり、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金の申込の制限や中止、換金代金の支払遅延等の可能性があります。
信用リスク	株式等の発行者や株式の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、これらの株式等の価格が下落することやその価値がなくなることがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動により外貨建資産の価格が変動します。一般に外国為替相場が対円で下落した場合(円高の場合)には、外貨建資産の円ベースでの価格は下落します。

その他の留意点

クーリング・オフ	金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
保険機構及び保護基金	「みのりのDC」は預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。

リスク管理体制

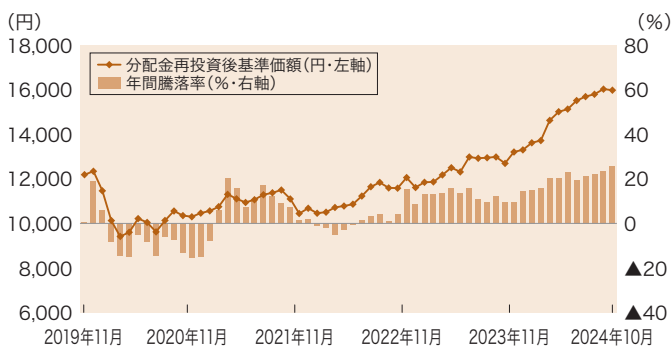
- ①投資政策委員会は「みのりのDC」の運用状況をチェックし、運用実績および運用リスクの調査・分析等を行います。
- ②マーケティング部は運用リスク管理等の状況を投資政策委員会に報告し、重大な問題を発見した場合は関連部署に報告を行います。
- ③投資制限への抵触の可能性が高まったと判断した場合、リスク管理担当者は運用担当者に注意を喚起し、その効果をモニタリングした上で、結果を投資政策委員会に報告します。
- ④流動性リスク管理に関しては社内規程を定め、市場や規制動向やお客様の解約動向等を的確に把握し、投資した株式等の流動性リスクをモニタリングするとともに、緊急時対応策の策定・検証を行います。
- ⑤投資政策委員会は流動性リスクに関する管理状況について、定期的に報告を受け、管理態勢の適切性・効果性を確認します。

「みのりのDC」と代表的な資産クラスの動き

(2019年11月～2024年10月)

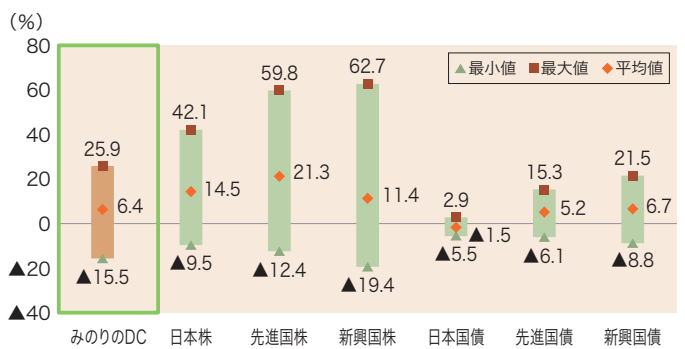
■ 「みのりのDC」の年間騰落率と分配金再投資後の基準価額の推移

折れ線グラフは「みのりのDC」の月末時点の基準価額の推移を、棒グラフは月末まで1年間保有した場合の騰落率を表しています。基準価額は税引前の分配金を再投資したとして計算しています(第1期から第8期までの分配金は0円です)。



■ 「みのりのDC」と他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

過去5年間(2019年11月から2024年10月まで)において、各月末まで1年間保有したと仮定して計算した騰落率の平均値、最大値、最小値を各資産クラス毎に表示しています。



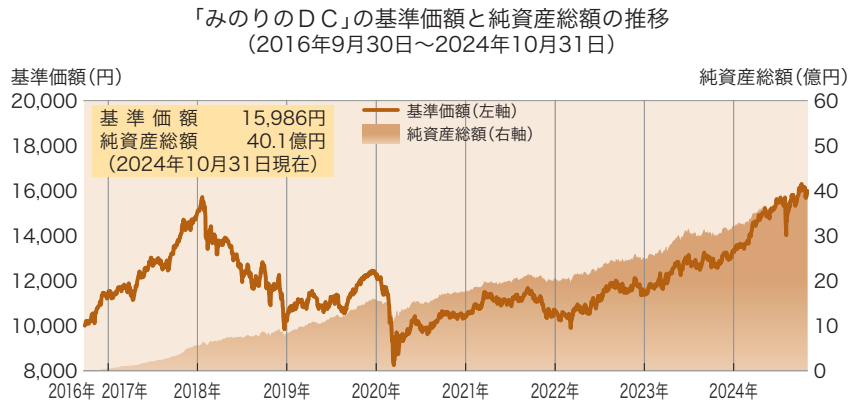
<代表的な資産クラスについて>

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込) 株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI 国債 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	J.P. Morgan GBI - エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

騰落率は指数算出会社が提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、その騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等や、その騰落率の利用に起因する損害および一切の問題についていかなる責任も負いません。各資産クラスの指数と算出会社は上記の通りで、その著作権、商標権、知的財産権等一切の権利は各算出会社に帰属します。

■ 基準価額・純資産総額の推移

西洋（米国）から東洋（中国）へ緩やかに覇権が移行するなか、世界は「小さな政府」から「大きな政府」へ、「グローバル化」から「保護主義」へと価値観が大きく変わる歴史的な転換点にあります。また40年ぶりの本格的な物価・金利上昇期への移行に伴い、金融正常化の進展とともに金融は膨張から縮小への流れが強まり、企業では淘汰・寡占化や技術革新による生産性改革が進むでしょう。2020年以降、「みのりのDC」の基準価額は着実に上昇を継続しており、今後も新たな世界情勢を踏まえて、厳選した割安な長期成長企業に規律をもって集中投資する運用方針を堅持します。



■ 分配の推移

得られた収益を分配するのではなく再投資することにより、お客様にさらに大きな収益を目指していただきたいと考え、2024年4月1日決算も分配金は0円としました。

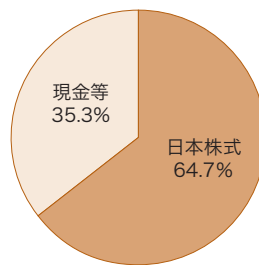
分配金（1万口あたり／税引前）

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
設定来累計		0円					

■ 主要な資産の状況

世界的な価値観の変化や地政学リスクの高まり、国家債務の膨張や物価上昇等から、世界の株式市場は不安定さを増しています。こうした中でも、筋肉質で高付加価値に変革し始めた日本企業の収益性は、環境変化に適応したさらなる構造改革で長期的に高まると想定しています。また円安は日本や日本企業や製品・サービスの魅力を高めるため、世界の中で日本の魅力はさらに増すでしょう。したがって、割高な海外株式の保有を見送り、世界でも割安な日本の株式のみを保有しています。

資産の内訳



組入上位10銘柄

銘柄	組入比率
1 IDOM	5.3%
2 ニデック	5.0%
3 フジシールインターナショナル	4.9%
4 ツムラ	4.7%
5 シェアリングテクノロジー	4.4%
6 スルガ銀行	4.4%
7 ニホンフラッシュ	4.2%
8 ノジマ	4.1%
9 ダイト	3.9%
10 サックスパーホールディングス	3.8%

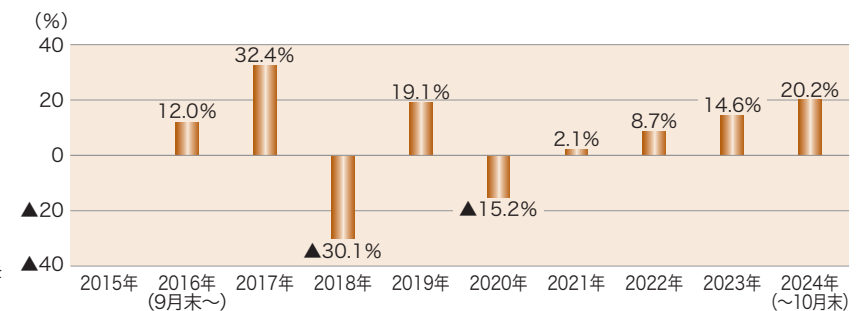
組入銘柄数：34

※上記の図表はみのりのの投資マザーファンドの内容を表しています。

■ 年間収益率の推移（暦年ベース）

2020年以降は、日本株式のなかでも業績成長と比べて絶対的に割安な株式の魅力の高まりもあり、基準価額は継続的に上昇しています。特に、変動率を市場よりも低く抑えつつ、変動率以上に上昇しているのが特徴的です。

※絶対収益を目指すので、ベンチマークはありません。
 ※設定日(2016年9月30日)以前の運用実績はありません。
 ※数値はいずれも小数点第2位を四捨五入しています。
 ※運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を
 示唆・保証するものではありません。



「みのりのDC」の月々の運用状況は、株式会社ポートフォリアのホームページにおいて開示されています (<https://portfolia.jp/minorinoDC/>)。

手続・手数料等

■ お申込みメモ

ご購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
	購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
ご換金時	換金単位	販売会社が定める単位とします。
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、販売会社にてお支払いします。
お申込について	申込締切時間	原則として、購入・換金の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。 詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入の申込期間	2024年6月29日から2025年6月30日まで ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
	購入・換金の申込不可日	海外にも投資するため、国内の営業日であっても申込ができない日があります。 詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金制限	ファンドの流動性状況によっては、信託財産の資金管理を円滑に行うため、換金申込を制限する場合があります。
	購入・換金申込受付の中止及び取消し	取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金の申込の受付を取消すことがあります。
その他	信託期間	無期限です（信託設定日：2016年9月30日）。
	繰上償還	ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には償還する場合があります。
	決算日	毎年3月31日（休業日の場合は翌営業日）
	収益分配	毎年1回の決算時に委託会社（株式会社ポートフォリア）が基準価額の水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、委託会社の判断において、分配を行わない場合があります。 収益分配金は、原則として決算日の基準価額で「みのりのDC」に再投資されます（手数料はかかりません）。
	信託金の限度額	1兆円
	公 告	原則として、公告は電子公告により行います（ https://portfolia.jp/ ）。 電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
	運用報告書	決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じてお客様に交付します。
	課税関係	課税上の取扱いは株式投資信託となります。 確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

■ 「みのりのDC」の費用・税金

「みのりのDC」の費用

お客様が直接的に負担する費用

	支払先	購入時手数料	役務の内容
購入時手数料	販売会社	販売会社が個別に定める率を乗じて得た額。 ※購入時手数料を徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。		

お客様が信託財産において間接的に負担する費用

	純資産総額に以下の率を乗じて得た額を日々計上しております（年率表示。カッコ内は税抜）。 お客様が負担する費用が少なくなることを目的として、「みのりのDC」の純資産総額が増えるに したがって、運用管理費用の料率が下がる仕組みになっています。				
	支払先と 役務の内容	委託会社	販売会社	受託会社	合計
	純資産総額	運用の指図、基準価 額の計算、法定書類の 作成等	口座管理、事務手続き、 情報提供等	信託財産の管理、 委託会社からの運用 の指図の実行	
運用管理費用 (信託報酬)	300億円以下の部分	0.99% (0.90%)	0.66% (0.60%)	0.055% (0.05%)	1.705% (1.55%)
	300億円超 500億円以下の部分	0.77% (0.70%)	0.66% (0.60%)	0.055% (0.05%)	1.485% (1.35%)
	500億円超 1,000億円以下の部分	0.66% (0.60%)	0.66% (0.60%)	0.055% (0.05%)	1.375% (1.25%)
	1,000億円超の部分	0.55% (0.50%)	0.66% (0.60%)	0.055% (0.05%)	1.265% (1.15%)
その他の 費用・手数料	以下の費用・手数料が「みのりのDC」から支払われます。これらの費用等は運用状況等により変動する ので、事前に金額・計算方法を表示することができません。 ・租税、立替金および借入金の利息 ・監査および法定手続き（書類の作成、印刷、交付等）に関する費用等（日々の純資産総額に対して 年率0.11%（税抜0.1%）を上限として日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに「みのりのD C」から支払われます。） ・組入有価証券の売買委託手数料、金銭信託等に課される手数料および外国における資産の保管等に要 する費用等				

費用等の合計額については、お客様が「みのりのDC」を保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

「みのりのDC」の税金

- 確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用され、所得税、復興特別所得税および地方税はかかりません。

※上記は、2024年12月26日現在のものです。なお、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

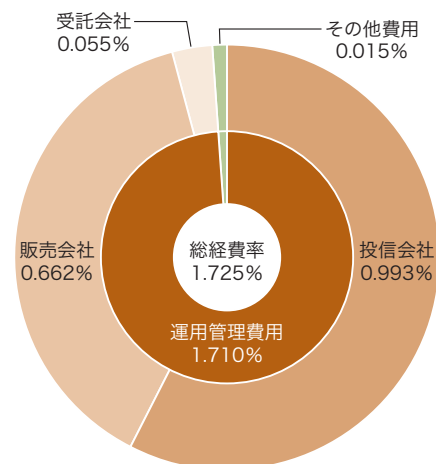
※税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。

【(参考情報)ファンド総経費率】

対象期間：2023年4月1日～2024年4月1日

- 「総経費率」とは、当期中の運用・管理にかかった費用の総額（募集手数料、売買委託手数料、および有価証券取引税を除く）を、期中の平均受益者口数に期中の平均基準価額（1口あたり）を乗じた数で除して算出した比率（年率換算）です。
- 「総経費率」の計算に含まれない費用については、下記の「追加で頂いている費用」で追加開示しています。
- 「みのりのDC」の手数料は、世界株式を厳選し市場変動にも適応するため高めに設定しています（運用結果は費用控除後）が、純資産総額増加にしたがい運用管理費用が逡減する仕組みを採用しています。今後も、お客様の費用負担を軽減できるように努力を重ねてまいります。

総経費率の内訳



総経費率の明細

項目	比率 (%)	項目概要
(a) 運用管理費用 (信託報酬)	1.710	
委託会社 (投信会社)	0.993	運用の指図、基準価額の計算、法定書類の作成等
販売会社	0.662	運用報告書等の送付や口座の管理、お客様へのアフターフォロー
受託会社	0.055	信託財産の管理、委託会社からの運用の指図の実行
(b) その他の費用・手数料	0.015	
保管費用	0.002	外国における資産の保管等に要する費用
監査費用	0.013	監査に関する費用
印刷費用	0.000	法定手続き (書類作成・印刷、交付等) に関する費用
総経費率の合計	1.725	

追加で頂いている費用明細

項目	比率 (%)	項目概要
売買委託手数料	0.053	
株式	0.053	組入有価証券を売買するための費用
有価証券取引税	-	
株式	-	外国株式を売買するときに課されることがある税金

(注) 各比率は1万口あたりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 上段の総経費率の合計には募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税は含まれません。

(注) 各比率は年率換算した比率です。

(注) 上記の前提条件で算出したため、あくまでも参考数値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。